

2016年度（38期） 事業計画書

自：2016年4月 1日

至：2017年3月31日



公益財団法人 関西盲導犬協会

京都府亀岡市曾我部町犬飼未ヶ谷18-2

公益財団法人 関西盲導犬協会 2016年度事業計画書
(2016年4月1日—2017年3月31日)

1. 公益事業部門

1-1. 盲導犬および視覚障がいに関する事業

(1) 盲導犬実働頭数(盲導犬ユーザー数)ならびに貸与者数

今年度は10頭の盲導犬を育成し、11人の視覚障がい者に貸与する(新規3名、代替者8名)。2015年度末の盲導犬実働数より1頭増となる。

		盲導犬 実働数(頭)	盲導犬 ユーザー数(人)	増加数
2015年度	実績	84	88 ※	
2016年度	引退予定数	9	10 ※	
	代替予定数	7	8 ※	
	新規予定数	3	3	
2016年度 計画		85	89	1頭(1人)

※夫婦で1頭の盲導犬を使用するタンデム方式により、盲導犬実働数と盲導犬ユーザー数に差異が出る。

(2) 盲導犬ユーザーへのフォローアップ

- ①盲導犬と盲導犬ユーザーが安全、安心した歩行と生活ができるよう専任指導員を配置して継続的なフォローアップを実施する。
- ②公的機関や福祉施設等、地域の社会資源を活用したフォローアップ体制を構築する。

(3) 盲導犬貸与委員会の開催

第三者委員で構成された盲導犬貸与委員会を月1回開催し、盲導犬貸与規程ならびに盲導犬貸与委員会規程に基づく公正な盲導犬貸与を実施する。

(4) 犬の育成

- ①パピーウォーキングプログラム(子犬飼育プログラム)に、パピー40頭を導入するための繁殖を実施する。
- ②AGBN(アジア・ガイドドッグ・ブリーディング・ネットワーク)をはじめとする、国内外の協力先と連携し、質の良い盲導犬候補犬の確保を図る。
- ③巡回指導・講習会等を通して、パピーの健康・衛生管理とパピーウォーカー(子犬飼養ボランティア)に対する飼育指導を継続する。
- ④訓練棟の新築にともなう盲導犬候補犬(訓練犬)の管理方法ならびに生活訓練方法の早期安定化を図り、より質の高い盲導犬育成につなげる。
- ⑤飼育相談受付や医療費補助など、リタイア犬ボランティアが安心してリタイア犬のケアができる環境を整備する。

(5) 盲導犬訓練士および歩行指導員の養成

- ①認定NPO法人全国盲導犬施設連合会(以下、連合会と記載)の実施する歩行指導員等資格認定において歩行指導員1名の資格取得を目指す。
- ②連合会の歩行指導員等資格認定要綱に基づいて実施されるセミナー等に訓練士ならびに指導員を派遣する。
- ③国際盲導犬連盟主催セミナー(開催国クロアチア)に職員2名を派遣する。

④京都造形芸術大学と盲導犬に装着する「ハーネス」をテーマにした共同授業を開催する。

(6) その他

- ①パートタイマー1名を正職員として採用する。
- ②ドッグフード・犬具の発送に関して外部委託を検討する。

1-2. 相談事業

(1) 盲導犬・視覚障がい者に関する問題に対する措置

- ①盲導犬ユーザーからの相談や苦情、一般市民からの盲導犬に関する相談や苦情に対して、相談担当職員、フォローアップ専任指導員、第三者委員が連携をして迅速な対応を図る。
- ②苦情に関して、連合会と連携し、行政窓口への報告を実施する。

1-3. 啓発普及事業

(1) 4つのバリアを解消するための啓発普及活動

- ①盲導犬ユーザーを取りまく4つのバリア（「物理的バリア」、「制度的バリア」、「情報のバリア」、「意識上のバリア」）を解消し、盲導犬ユーザーが一般市民と変わりなく歩行、生活できることを目指した啓発普及活動を行う。
- ②障害者差別解消法の施行にともない、その周知を目的とした啓発を実施する。
- ③ホームページや機関紙「ハーネス通信」を通して、盲導犬ならびに盲導犬ユーザー等に関する情報を発信する。

2. 管理部門

(1) 安定的な事業運営のための働きかけ

- ①安定的な事業運営のため、「継続的な寄付支援」を得られるよう寄付支援者、賛助会員、募金箱設置店への働きかけを行う。

(2) 経費削減への取り組み

- ①寄付金の効率的・効果的な使途を第一に、無駄のない事業運営を目指す。

3. 施設整備計画

- ①訓練棟に関する備品（イス・テーブル等）を購入する。
- ②旧犬舎の改築をする。（見積額924,000円 消費税込み）

4. その他

(1) 職員について

		正職員数	パートタイマー	資格取得年数
管理部門	管理・事務職	4	2	
	普及啓発	2		
訓練部門	盲導犬歩行指導員	5	1	1999年1名、2002年2名、 2014年1名、 2016年(4月1日)1名 ※上記5名は盲導犬訓練士の有資格者 ※正職員のみ記載
	盲導犬訓練士	2		2011年1名、2012年1名
	パピー担当者	1		
	繁殖担当者	1		
	犬舎管理担当者	1		2016年4月採用予定
計		16	3	

(2) 訓練士・歩行指導員等のキャリアアップの状況

訓練犬の訓練頭数ならびに視覚障がい者の歩行指導回数等、日本盲人社会福祉施設協議会の自立支援部会盲導犬委員会ならびに認定 NPO 法人全国盲導犬施設連合会の策定した基準に則り、訓練士ならびに歩行指導員を養成。その他に、国際盲導犬連盟、アジアブリーディングネットワーク (AGBN)、視覚障害リハビリテーション協会等の主催するセミナーや会合などに積極的に参加して、訓練技術や視覚障害に関する知識のキャリアアップを実施する。

(3) 訓練について

犬のステージ	期間 (犬年齢)	訓練のステージ	担当職員	内容
子犬	生後 50 日～ 1 歳	パピーウォーキング	パピー担当	パピーウォーカー（子犬飼養ボランティア）宅での基本的な躰や生活
訓練犬	1 歳～ 約 2 歳	候補犬の訓練	訓練士 歩行指導員 犬舎管理担当	直線歩行・障害物回避・段差発見・公共交通機関の利用・ステイ（待つこと）・生活訓練（食餌・排泄等）
	約 2 歳	共同訓練 (2 週間～4 週間)	歩行指導員	視覚障がい者と訓練犬との歩行訓練ならびに生活訓練
盲導犬	2 歳～ 10 歳	フォローアップ	歩行指導員	盲導犬ユーザーが安全な歩行かつ快適な生活を持続するために、盲導犬貸与後年 1 回以上のフォローアップの実施

(4) 施設について

①施設の場所

〒621-0027 京都府亀岡市曾我部町犬飼未ヶ谷18-2

②敷地面積

亀岡市曾我部町犬飼未ヶ谷18-2 (5,715.71m²)

亀岡市曾我部町犬飼未ヶ谷18-3 (2,486m²)

亀岡市曾我部町犬飼未ヶ谷18-4 (393m²)

亀岡市曾我部町犬飼未ヶ谷24-2 (105.98m²)

③建物

a. 訓練センター棟（鉄筋コンクリート2階建て） 826m²

事務所・厨房・食堂・ホール・宿泊室（7室）・犬用医務室・犬舎

b. 新犬舎（鉄骨平屋建て）犬室4室 94.60m²

c. ハーネス研修センター（木造2階建て） 宿泊室3室 122.84m²

d. 訓練棟540.39m²（2016年4月24日 竣工予定）